

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大阪市立御幸森小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒544-0034
大阪市生野区桃谷5-5-37

E-mail : e154102a@ocec.ne.jp

Website : http://www.ocec.ne.jp/es/miyukimori-es/

児童生徒数：男子 67 名 女子 56 名 合計 123 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 全学年の活動

- ・ 児童朝会 各月に児童の誕生日をお祝いするバースデー集会の実施
- ・ 児童集会 異学年で交流（たてわり班活動）
- ・ クムマダン 本校は、児童の約7割が朝鮮半島にルーツをもつ。普段は、民族学級という形でルーツをもつ児童らが文化や歴史を学ぶが、この活動では全校の児童が遊びや楽器体験を通して朝鮮半島の文化を一日体験する。
- ・ JICA防災訓練 発展途上国から来日した救急救助隊の研修員らから火災や震災発生時の初期対応について学ぶ。本校児童からは隊員の国のことばであいさつをしたり歌や首飾りのプレゼントをしたり、交流を図った。また、質問の時間も設けて、隊員の国の様子についての話も聞くことができた。

② 各学年の活動

- ・ 1年生 昔遊びの交流・給食交流 ⇒ 地域の高齢者を招いて
- ・ 2年生 昔遊びの交流・給食交流 ⇒ 地域の高齢者を招いて
地区たんけん
- ・ 3年生 町たんけん ⇒ 商店街・コリアタウン調べ
商店街の方を招いて歴史や特色についてお話を聞く。
盲導犬の学習
朝鮮初級学校との交流 ⇒ 近隣にある朝鮮初級学校と歌や遊びで交流を図った。
- ・ 4年生 平野川の付け替え工事 ⇒ 工事の概要とその工事に携わった多くの朝鮮人の歴史について地域の方から話を聞いた。
パッカー車体験 ⇒ 地区の清掃局の方から、ごみ収集について苦労や注意していることのお話をきく。
朝鮮初級学校との交流 ⇒ 近隣にある朝鮮初級学校と歌や遊びで交流を図った。
大和川の付け替え工事 ⇒ 大阪市の南を流れる大和川について付け替え工事に携わった人々の苦労や工程について学習する。
- ・ 5年生 大震災と防災、放送局の仕事
⇒ MBS（毎日放送）のディレクターとアナウンサーを招きニュースができるまでの話とご自身が体験された阪神淡路大震災の様子をお話いただき、防災の必要性を学んだ。
伝統工芸体験 ⇒ 錫器作りを通して、伝統工芸について学ぶ。
韓国伝統打楽器体験 ⇒ ラジオ番組の企画で、韓国のチャングという打楽器の体験を行った。

- ・ 6年生 日韓茶道体験 ⇒ 2学期に実施。日本茶道と韓国茶道を体験し、それぞれの民族が大切に守り続けてきた文化の素晴らしさを理解し、多文化共生の意識を高めた。
- 平和学習 ⇒ 大阪大空襲についてゲストティーチャーを招き、当時の様子についてお話を聞いた。
- ラグビー体験教室 ⇒ 大阪朝鮮高級学校（本年度全国大会ベスト8）のラグビー部を招き、スポーツを通して自分自身を高めることと自身のアイデンティティの醸成について学んだ。
- さをり織り体験 ⇒ インドネシアの震災の際にも注目を集めたさをり織り。本校では、3年前から6年生がコースターなどを作るなど体験している。
- 伝統工芸体験 ⇒ 錫器作りを通して、伝統工芸について学ぶ。

これらの活動は、年間指導計画の中に位置づけ、通常の授業の時間に行っている。また、本年度より5・6年生を対象に月に一回、課外の活動で「ユネスコタイム」を実施した。これは、国際理解教育を中心にして世界の国の文化や課題を学習する時間として設けられた。本校では、多くの朝鮮半島にルーツを持つ児童がおり、また外国にルーツを持つ児童も在籍している。彼らと共に多文化共生社会の担い手となる子どもらを育てることを主たる目的としている。次年度からは、週に一回の活動として実施していく。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施 ※本校では「ユネスコタイム」として実施。
- その他（国際理解クラブとして、クラブ活動も行った。この活動は、あいさつや遊びなど、簡単なツールを使って国際理解の入門を図る活動とした。）